

島崎藤村『夜明け前』に見る精神医学・精神障害者処遇

—その症状・原因・処遇の描写に着目して—

○ 早稲田大学大学院 氏名 野田晃生（会員番号 008268）

キーワード3つ：島崎藤村・『夜明け前』・精神医学

1. 研究目的

島崎藤村『夜明け前』（1925年4月～1932年10月に『中央公論』誌上に掲載され、後に出版、二部構成）は、日本の幕末・維新期の社会を描いた文学作品として現在まで読み継がれている文学作品である。

『夜明け前』においては、物語の終盤、主人公・青山半蔵（島崎藤村の父・島崎正樹をモデルとする）は精神を病み、放火事件を起こしたことをきっかけとして座敷牢に入れられ、そこで一生を終えている。

先行研究においては、青山半蔵の精神疾患は統合失調症（かつての精神分裂病）であるとされてきたが、その具体的な症状の過程・原因については十分な研究がなされてこなかった。

そこで、本研究においては、『夜明け前』における青山半蔵の精神疾患を作中の描写を追って検討することによって、精神医学的な考察を行うことを目的とする。また、それと共に、精神障害者に対する処遇についても考察を行う。

文学作品は、医学書・医学論文と比較して専門家ではない人々にも読まれることが多い。そのため、精神障害者やその処遇について人々が触れるきっかけとなることも多いと考える。

2. 研究の視点および方法

『夜明け前』を一次資料として用いることによって、青山半蔵の精神疾患の描写を過程を追って検討し、それぞれの時期の症状を検討する。その症状を検討するにあたっては、医学書・医学論文等を一次資料として用いる。また、当時の精神障害を抱える者に対しての処遇を検討するにあたって、歴史的資料を用いる。

3. 倫理的配慮

文献資料を用いた資料研究であるため、特に申請を行うという形は取らないが、研究によって精神障害やその処遇に対する差別や偏見が助長されないように配慮する。また、『夜明け前』の作者である島崎藤村、青山半蔵のモデルとされる島崎正樹に対する見方に偏見がもたらされることのないよう配慮する。

4. 研究結果

『夜明け前』における青山半蔵の症状を検討した結果、統合失調症の妄想型であること、第二部第十四章の放火のシーンに関しては陽性反応が出ており、それによる突発的な行動であるということが結論付けられた。また、その他の症状の描写を見ると、それ以前の章においても、不眠・それに伴う飲酒、妄想・幻聴、突発的な行動が見られた(これらの行動は、統合失調症の妄想型に見られる症状である)。

青山半蔵の精神疾患の原因には、父・金兵衛の死、理解者であった伊之助の死(近しい者との死別による喪失体験)、娘・お灸の自殺未遂等が第一に挙げられる。

第二に、幕末・明治維新の激動の時代において、上(官)と下(百姓)の間で自分が理解されないこと、社会環境の激変、山林入会地の問題等、ストレスを抱える原因が多くあったことが挙げられる。

第三に、青山半蔵が新時代の拠り所として理想としていた平田神道の理想が絶えてしまったということを感じたことが挙げられる。

これらの多くのストレスが原因となり、青山半蔵は精神障害を抱えることになった。従来の研究では第二部第十四章の放火事件をもって「発狂」とされてきたが、作中の描写を見ると、それ以前から青山半蔵は精神を病んでいたということがその症状・行動から見て取れる。そして、放火事件というきっかけがあり、青山半蔵は座敷牢に入れられることとなり、そこで一生を終えることとなった。

また、精神障害者への処遇という点から見ると、精神病院が一般的ではなかった『夜明け前』の時代において、座敷牢による私宅監置という処遇は精神障害者に対して数多く行われていたということが、医学史的にも明らかになっている。この私宅監置に関しては、精神科医である呉秀三が批判を行っている。

『夜明け前』においても、私宅監置・座敷牢という、当時の精神障害者への処遇を踏まえた記述がされている(これは、島崎藤村の父・島崎正樹の辿った道と同様である)。

5. 考察

『夜明け前』における青山半蔵の精神疾患は統合失調症の妄想型であり、第二部第十四章における放火事件はそれによる急性的な行動であった。また、放火事件以後の彼に対する処遇は座敷牢という私宅監置であったが、それは治療を目的としたものではなく、監禁・拘束のみが目的とされていたものであった。

勿論、『夜明け前』一作品のみにおいて当時の精神障害者・その処遇について全てを論じることはできないが、『夜明け前』は幕末維新时期の社会に加えて、精神医学的な読解も可能である作品であるということが明らかになった。

今後の研究においては、他作品・他作家も取り上げ、私宅監置に加えて精神病院・自宅治療・施設等のそれぞれの時代の精神障害者の処遇についても検討を行いたい。